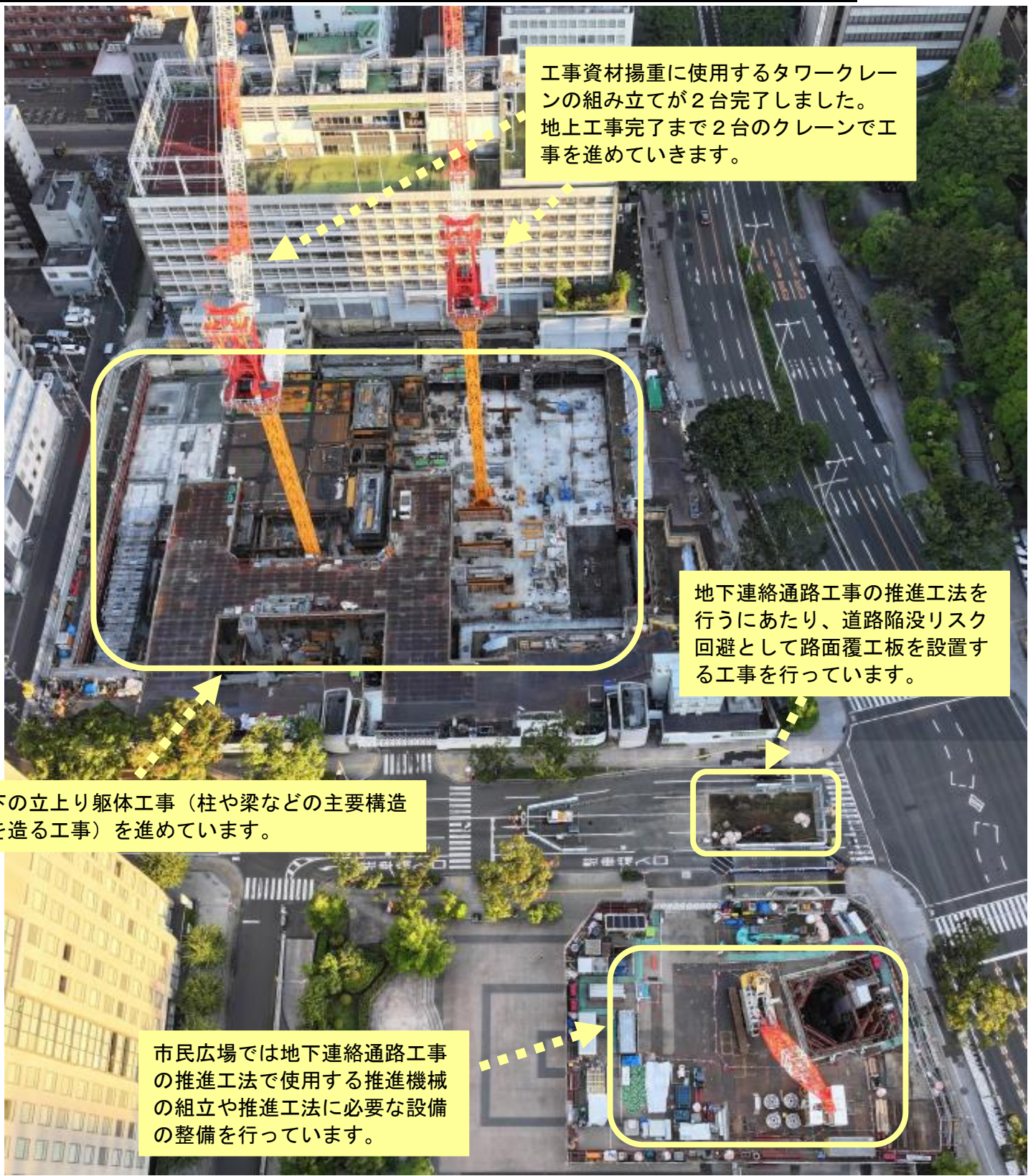


仙台市役所新本庁舎第一期建設工事の進捗お知らせ

2025（R7）. 9. 末



【免震層が出来上がってきました】



新本庁舎の高層棟は「災害時における防災拠点としての市庁舎機能の維持」が求められています。そのため、建物の構造は「免震+制振ハイブリッド構造」となっており、1階下に免震層を設ける計画となっています。現在、その免震層の床躯体が一部出来上がってきました。10月中旬からは「免震装置」の設置がスタートし、11月からはいよいよ1階床を構築する「鉄骨工事」がスタートします。ぜひ、大迫力の鉄骨工事を透明仮囲いから覗いてみてください。

【市道表小路線の路面覆工板設置工事を進めています】



地下連絡通路整備にあたり市民広場から新庁舎に向かって、推進工法という地中内部での掘削を進めていく工事を予定しています。道路陥没リスク回避として、市道表小路線に路面覆工板の設置を行っています。それに伴い、交通規制等が10月中旬まで継続しますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、掘削完了後の覆工板撤去時も同様に交通規制が発生しますので、あわせてよろしくお願いいたします。